



各 位

平成 22 年 11 月 5 日

会社名 マルマン株式会社

代表者名 代表取締役社長 大隅 宏昭

(コード番号：7834)

問合せ先 経営管理部長 中村 修

(TEL：03-5577-1153)

## 業績予想の修正及び繰延税金資産計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 7 日に公表しました平成 22 年 9 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたします。また、繰延税金資産の計上を行う見込みとなったため、あわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 22 年 9 月期通期業績予想値の修正

(連結) (平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,588	553	478	571	53円74銭
今回修正予想 (B)	7,372	604	590	721	67円86銭
増減額 (B-A)	△216	51	112	150	-
増減率 (%)	△2.8%	9.2%	23.4%	26.3%	-
(参考)前期実績	6,038	△186	△405	△847	△79円75銭

(個別) (平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,418	532	450	797	75円1銭
今回修正予想 (B)	7,192	589	526	899	84円66銭
増減額 (B-A)	△226	57	76	102	-
増減率 (%)	△3.0%	10.7%	16.9%	12.8%	-
(参考)前期実績	3,228	△451	△330	△1,011	△95円19銭

#### 2. 修正の理由

平成 22 年 9 月期の連結業績は、急激な円高の進行により海外売上上の伸びが減少し、売上高は前回の予想をやや下回る見通しですが、利益面ではコスト削減の推進により、製造原価と販売費及び一般管理費が減少したこと、また韓国・台湾の持分法適用関連会社における持分法投資利益が増加したことなどにより、営業利益、経常利益とも前回の予想を上回る見通しとなりました。当期純利益については、第 4 四半期において日本振興銀行株式会社の民事再生手続開始申立てに伴い、投資有価証券評価損 3 億 3 千 5 百万円を特別損失として計上することとしておりますが、一方で繰延税金資産を 5 億 3 千 4 百万円計上する見込みとなったことなどから、当期純利益についても前回予想を上回る見通しとなりました。

### 3. 繰延税金資産の計上

当社は、平成 21 年 9 月期に繰延税金資産の取り崩しを行いましたが、平成 22 年 9 月期の業績の回復が順調であり、今後の業績見通しを踏まえ、「繰延税金資産の回収可能性の判断に関する監査上の取扱い」（日本公認会計士協会監査委員会報告第 66 号）に基づき慎重に検討した結果、繰延税金資産の計上が可能と判断いたしました。

これにより、繰延税金資産として連結で 5 億 3 千 4 百万円、単体で 5 億 1 千 8 百万円を計上いたします。

以上